

令和2年度 第1回 高知支部評議会

令和元年度事業報告について

令和2年7月16日



目次

1 . 令和元年度重要業績評価指標 K P I 達成状況	P 1～P 3
(1). 基盤的保険者機能関係	P 4～P13
(2). 戦略的保険者機能関係	P14～P21
(3). 組織運営体制関係	P22～P24
2 . 令和元年度支部保険者機能強化予算執行状況	P25～P25
(1). 医療費適正化対策経費関係	P26～P26
(2). 広報・意見発信経費関係	P27～P28
(3). 健診経費関係	P29～P30
(4). 保健指導経費関係	P31～P32
(5). 重症化予防事業経費関係	P33～P33
(6). その他の経費関係	P34～P34
(7). 参考資料	P35～P37

1. 令和元年度 重要業績評価指標 K P I 達成状況（基盤的保険者機能関係）

具体的施策	K P I 設定項目		結果	達成度
効果的なレセプト点検の推進	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率	0.393%以上	0.444%	+ 0.051%
柔道整復施術療養費の照会業務の強化	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合	0.74%以下	0.67%	+ 0.07%
返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進	資格喪失後1か月以内の保険証回収率	94.90%以上	94.87%	△0.03%
	資格喪失後受診に係る返納金債権の回収率	57.38%以上	69.03%	+ 11.65%
	医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合	0.046%以下	0.052%	△0.006%
サービス水準の向上	サービススタンダードの達成状況（給付金申請書受付日から10日営業日以内の支給）	100%	100%	± 0%
	現金給付等の申請に係る郵送化率	86.3%以上	80.7%	△5.6%
限度額適用認定証の利用促進	高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合	84.0%以上	74.9%	△9.1%
被扶養者資格の再確認の徹底	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率	93.2%以上	94.5%	+ 1.3%
オンライン資格確認の利用率向上	現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率	50.0%以上	54.2%	+ 4.2%

1. 令和元年度 重要業績評価指標 K P I 達成状況（戦略的保険者機能関係）

具体的施策	K P I 設定項目		結果	達成度
特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上	生活習慣病予防健診受診率	61.9%以上	64.0%	+2.1%
	事業者健診データ取得率	7.1%以上	7.6%	+0.5%
	被扶養者の特定健診受診率	26.0%以上	24.1%	△1.9%
特定保健指導の実施率の向上	特定保健指導の実施率	14.5%以上	17.7%	+3.2%
重症化予防対策の推進	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合	12.0%以上	8.8%	△3.2%
広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進	広報活動における加入者理解率の平均	39.1%以上	47.2%	+8.1%
	全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合	52.0以上	52.9%	+0.9%
ジェネリック医薬品の使用促進	協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合	74.0%以上	73.7% ※R2.2月診療分	△0.3%
地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信	他の被用者保険者との連携を含めた地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率	100%	100%	達成
	経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベースなどを活用した効果的な意見発信	実施	未実施	未達成

1. 令和元年度 重要業績評価指標 K P I 達成状況（組織・運営体制関係）

具体的施策	K P I 設定項目		結 果	達成度
費用対効果を踏まえたコスト削減等	一般競争入札に占める一者応札案件の割合	100%以下	0.0%	達成

《重要業績評価指標KPIについて》

Key Performance Indicatorsの略。重要業績評価指標のことで、組織の目標達成度合いを測る基準のひとつ。

保険者機能強化アクションプラン（第4期）において、協会けんぽの役割等を①基盤的保険者機能、②戦略的保険者機能、③組織体制の強化の3つに分類した上で、分野ごとに具体的取組を定めて3年後のKPIを設定し、事業計画と連動させ評価・改善を行うことにより、PDCAサイクルを強化する。

1(1). 基盤的保険者機能関係

現金給付の適正化の推進／令和元年度評価結果

KPI目標	・ 設定なし	KPI結果	—
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 毎月「保険給付適正化プロジェクトチーム」を開催し、不正疑いのある事案について検討を行い、疑義のある事業所へ立入調査を実施した。 (令和元年度立入調査：1件)・ 給付を受けるために資格を取得したことが疑われる申請について、重点的に審査を行い、本部より提供される「遡及資格処理事案」および「継続給付関連事案」について事後調査を行った。 (令和元年度本部よりデータ提供：5件)・ 傷病手当金と年金との併給調整確認について、本部より提供される対象データについて事務処理手順書に基づいた確認を徹底し、確実な併給調整を実施した。 (令和元年度返納金調定：58件 7,448,403円)		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 「保険給付適正化プロジェクトチーム」を毎月開催することにより、不正が疑われる事案の対応についてスムーズに実施することができた。傷病手当金と年金との併給調整についても確実に併給調整を実施できた。		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

効果的なレセプト点検の推進／令和元年度評価結果

KPI目標	社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率について対前年度（0.393%）以上とする	KPI結果	0.444%
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・「レセプト内容点検行動計画」に基づき重点4方針（点検員のスキルアップ、システム点検の精度向上、支払基金との連携、進捗会議の活性化）に確実に取り組み、毎月の取組内容を確認のうえ翌月以降の取組みに活かした。・点検員毎の再審査請求結果（診療観点）を分析し、点検員の点検傾向と得意・不得手を把握し、毎月の面談指導において点検員の目標達成の支援を行った。・支払基金に対して、査定の見落としを防止するための協議を実施し、さらには情報交換を積極的に行うことにより、支払基金の査定率向上に寄与した。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・合算した査定率について目標を達成した。内訳は、支払基金は前年度から0.050%の増加、協会けんぽは同0.001%の増加である。一方、全国平均は合算した査定率が、前年度から0.021%の減少であり、内訳は支払基金は前年度から0.013%の減少、協会けんぽも同様に0.007%の減少となっている。・点検員毎再審査請求結果（診療観点）を分析し、強みの伸ばし・弱みの克服に努めたことが査定率アップに繋がった。		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

効果的なレセプト点検の推進／令和元年度評価結果

KPI目標	-	KPI結果	-
取組内容	<ul style="list-style-type: none">資格点検については資格喪失後受診等に係る疑義レセプトについて全件点検を行い、必要に応じて医療機関照会を実施し、レセプトの返戻および返還請求へ繋げた。外傷点検については、外傷性病名3,000点以上にかかるレセプトについて、加入者あてに負傷原因の照会を実施し、返還請求および損害賠償請求等に繋げた。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">資格点検における加入者1人当たり効果額は、令和元年度は1,342円であり、平成30年度の1,565円を223円下回った。なお、数値は減少しているが適正な事務処理を行っている。外傷点検における加入者1人当たり効果額は、令和元年度は444円であり、平成30年度の572円を128円下回った。なお、資格点検同様に数値は減少しているが適正な事務処理を行っている。		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

柔道整復施術療養費の照会業務の強化／令和元年度評価結果

KPI目標	柔道整復施術療養費の申請に占める、施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合について対前年度（0.74%）以下とする	KPI結果	0.67%
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 施術箇所3部位以上、かつ月15日以上 of 施術の申請を中心に「部位ころがし」「過剰受診」の傾向がある受診者へ適切な受診に関する案内を同封した文書による照会を実施した。 (令和元年度照会文書送付：1,327件)・ 面接確認委員会設置にともなう適正請求にかかる注意喚起文書送付を実施した。 (高知県内登録施術所：220施術所)		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 受診者への照会に加え、令和元年度から柔道整復療養費の適正化に資するため、柔道整復療養費審査委員会に設置された「面接確認委員会」の周知と適正請求にかかる注意喚起文書を送付したこと等により、KPI目標数値を達成することができた。		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

あんまマッサージ指圧・鍼灸施術療養費の適正化の推進／令和元年度評価結果

KPI目標	—	KPI結果	—
取組内容	<ul style="list-style-type: none">平成31年1月に受領委任制度が導入されたことに伴い、文書で作成された医師の再同意の確認を徹底する等審査を強化し、不正の疑いのある案件は指導および監査権限のある厚生局への情報提供を徹底した。 (厚生局への情報提供案件：なし)		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">医師の再同意の確認等重点的に審査実施を行い、適正な給付を行った。		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

返納金債権の発生防止のための保険証回収強化、債権回収業務の推進／令和元年度評価結果

<p>KPI目標</p>	<p>①資格喪失後1か月以内の保険証回収率を94.90%以上とする ②資格喪失後受診に係る返納金債権の回収率を対年度（57.38%）以上とする ③医療給付費総額に占める資格喪失後受診に伴う返納金の割合を対前年度（0.046%）以下とする</p>	<p>KPI結果</p>	<p>①94.87% ②69.03% ③0.052%</p>
<p>取組内容</p>	<p>①保険証回収については、日本年金機構の資格喪失処理日後7日以内に初回催告、さらにその後2週間以内に2次催告を実施した。あわせて、証回収不能届に基づき電話番号が判明した者には、対象者全員に電話による催告を実施した。 ②債権（資格喪失後受診）の回収について、調定から6か月以内の初動対応を重視するとともに保険者間調整を積極的に推進し、保険者間調整の件数は対前年度比+147%、金額では同+224%と大きな効果があった。 ③資格喪失後受診を防止するための加入者向け啓発ポスターを関係4団体と作成し、高知県内全ての保険医療機関に配布した。</p>		
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保険証回収率は日本年金機構のシステム不具合により令和2年1月末現在の数値をKPIの数値として用いることとなっている。なお、保険証回収率は昨年度並みの水準である。 ・債権回収率においては、保険者間調整の影響が大きかった。今後も債務者との接触を図り、保険者間調整を積極的に勧めていく。 		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

サービス水準の向上／令和元年度評価結果

KPI目標	①サービススタンダードの達成状況を100%とする ②現金給付等の申請に係る郵送化率を86.3%以上とする	KPI結果	①100% (前年度100%) ②80.7% (前年度77.8%)
取組内容	①サービススタンダードの達成状況 ・日々の進捗管理を徹底し、目標達成に取り組んだ。 (令和元年度支給決定件数：12,842件) ②現金給付等の申請に係る郵送化率 ・受付窓口へ持参されていた高知市の受取代理高額療養費（年間約1,200件）について郵送での協力依頼を複数回行い、協力を得た。 ・算定基礎説明会等の各種機会を捉えた広報を実施した。		
評価結果	①サービススタンダードの達成状況 ・管理者による受付から決裁まで進捗管理の徹底を行い、KPI目標を達成することができた。 ②現金給付等の申請に係る郵送化率 ・前年度より2.9%のアップとなったが、KPI目標の達成には至らなかった。 ・広報を実施のうえ、引き続き阻害要因の検証を行い、効果的な改善策を実施する。		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

限度額適用認定証の利用促進／令和元年度評価結果

KPI目標	高額療養費制度に占める限度額適用認定証の使用割合を84.0%以上とする	KPI結果	74.9% (前年度74.1%)
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 各種研修会およびお客様対応時に利用案内を実施した。・ 限度額申請書セットを新規で3医療機関および22市町村へ配置し、使用促進に取り組んだ。（令和2年6月現在配置場所：49医療機関・32市町村）・ 医療機関で配布してもらう際の患者説明用文書を作成し、医療機関担当者へ配布を行った。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 前年度より0.8%のアップとなったが、KPI目標の達成には至らなかった。・ 引き続き各種機会を捉えた広報の実施と限度額申請書セット配置済医療機関における使用傾向の検証および改善策を実施する。		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

被扶養者資格の再確認の徹底／令和元年度評価結果

KPI目標	被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率を93.2%以上とする	KPI結果	94.5% (前年度93.1%)
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・平成30年度未提出事業所について、提出期限前に電話による提出依頼を実施した。・未送達事業所について、電話連絡および事業主住所へ直接送付する等提出率アップに取り組んだ。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・早期に提出勧奨を実施し、KPI目標を達成することができた。 (令和元年度送付対象事業所数：8,641件 提出事業所数：8,166件)		

1 (1). 基盤的保険者機能関係

オンライン資格確認の利用率向上／令和元年度評価結果

KPI目標	現行のオンライン資格確認システムについて、USBを配布した医療機関における利用率を50.0%以上とする	KPI結果	54.2% (前年度34.3%)
取組内容	・利用がない1医療機関について訪問し、利用勧奨を行った。 (USBが配布医療機関数：2医療機関)		
評価結果	・訪問のうえ利用勧奨を行うことで利用率が向上し、KPI目標を達成することができた。		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

特定健診受診率・事業者健診データ取得率の向上／令和元年度評価結果

KPI目標	① 生活習慣病予防健診受診率 61.9%以上 ② 事業者健診データ取得率 7.1%以上 ③ 被扶養者の特定健診受診率 26.0%以上	KPI結果	①64.0% ② 7.6% ③24.1%
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事業所に近い健診実施機関を一覧表でお伝えするなどし、未受診事業所への受診勧奨を強化した。 ・事業者健診データ取得業務を外注業者に委託し、取得率の向上を図った。 ・特定健診の集団健診イベントを実施し、受診率の向上を図った。 		
評価結果	① 生活習慣病予防健診受診率 ・KPIを上回る結果となった。 ② 事業者健診データ取得率 ・KPIを上回る結果となった。 ③ 被扶養者の特定健診受診率 ・イオン高知で開催した集団健診の効果もあり、令和2年1月末の時点で前年度比833件の増と順調に伸びていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、最終的には前年度とほぼ同じ実施件数に留まった。		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

特定保健指導の実施率の向上／令和元年度評価結果

KPI目標	特定保健指導の実施率 14.5%以上	KPI結果	17.7%
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・協会けんぽが実施する特定保健指導の初回面談数の増加に努め、平均で150件/月だった面談件数を220件/月にした。・委託機関で健診当日の保健指導実施強化を働きかけた。・集団健診当日に特定保健指導が実施できるよう、健診実施機関と契約を締結した。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・上記の取り組みの成果は出ており、支部のKPIは達成している。・令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、3月～5月の3ヵ月間は特定保健指導が中止されていたことや、6月以降は事業所側に「感染防止対策」を求めながらの実施になるため、大幅に実績が下がることが予想される。・事業主及び加入者の皆様のご協力を得ながら、実績を向上させていく。		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

重症化予防対策の推進／令和元年度評価結果

KPI目標	受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.0%以上とする	KPI結果	8.8%
取組内容	<p>① 一次勧奨 健診結果の「血圧値」「血糖値」が要治療と判断されたにも関わらず、医療機関を受診していない治療放置者に、受診勧奨文書を発送した。 2,959件（協会けんぽ本部から全国各支部の対象者へ郵送）</p> <p>② 二次勧奨 ①の対象者のうち、ハイリスク者をピックアップして支部から受診勧奨を453名に実施した。 【内訳】 ・ 電話勧奨：15件 ・ 文書勧奨：376件 ・ 訪問面談：62件</p>		
評価結果	<p>・ 文書でお知らせするだけでなく、保健師が直接お話しすることが効果的と考え、特定保健指導に訪問する事業所に対象者がいる場合は、出来るだけ面談するように調整した。</p>		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

コラボヘルスの推進／令和元年度評価結果

KPI目標	—	KPI結果	—
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 関係団体（県、経済団体、マスコミ、保険会社等）との連携により「高知家」健康企業宣言事業所、及び健康経営優良法人認定事業所の拡大を図った。・ 健診受診者10名以上の宣言事業所に対して「健康度診断カルテ」を配付した。・ 高知新聞へ半5段モノクロ広告を掲載した。（R1.9.12）・ 高知新聞社「こうち健康企業プロジェクト」との連携により健康経営セミナーを開催した。（R1.10.9）・ 第78回日本公衆衛生学会で講演をおこなった。（R1.10.23）・ 健康づくり好事例集を作成し、健康保険委員を中心に配付した。（R1.11）		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 健康経営セミナー、日本公衆衛生学会の会場はほぼ満員となり立ち見が出る程であった。・ 「高知家」健康企業宣言事業所は97社増加し423社となった。・ 「健康経営銘柄2020」にて、高知県で初めて健康経営銘柄の選定法人が出たほか、「健康経営優良法人2020」における県内の認定法人も11法人増加し47法人となった。		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進／令和元年度評価結果

KPI目標	①広報活動における加入者理解率の平均について対前年度（39.1％）以上とする ②全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合を52.0％以上とする	KPI結果	①47.2％ ②52.9％
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種広報媒体（ホームページ、納入告知書同封チラシ、メールマガジン等）や、各種説明会（算定基礎説明会、職場の健康づくり応援研修会等）を通じて、健康保険制度や健康づくりに関する情報をわかりやすく発信するとともに、健康保険委員への登録をご案内した。 健康保険委員に対して、研修会開催（R1.11.8四万十市、R1.11.14高知市）広報誌発行（年4回）、健康保険各種申請の手引き配付等を通じて、定期的な情報提供をおこなった。 		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> 広報活動における加入者理解率の調査項目（①保険料 ②現金給付 ③健診保健指導 ④協会けんぽの取組等 ⑤医療のかかり方）を中心に広報を実施しKPIを達成した。 健康保険委員の委嘱について、上記広報媒体や説明会にて登録をご案内することでKPIを達成した。令和2年度は、大規模事業所を中心とした委嘱勧奨を実施することで、更に数字を伸ばしていく。 		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

ジェネリック医薬品の使用促進／令和元年度評価結果

KPI目標	協会けんぽのジェネリック医薬品使用割合を74.0%以上とする	KPI結果	73.7% (R2.2月診療分)
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・ 各種広報媒体（ホームページ、納入告知書同封チラシ、メールマガジン等）を通じて、普及促進を図った。・ 医療機関や調剤薬局への説明資料として「ジェネリック医薬品処方状況のお知らせ」を作成した。・ 県医師会、薬剤師会に対して、ジェネリック医薬品普及促進の協力依頼をおこなった。・ 協会の取り組みに関するプレスリリースをおこなった。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関や調剤薬局への訪問、日本ジェネリック製薬協会との勉強会のほか、医療関係者向けジェネリックセミナー等が、新型コロナウイルスの影響により中止となった。・ 使用割合は、令和2年1月診療分で73.3%と全国45位。一方で直近1年間の伸び率は+3.5%と、全国3位の伸び率となっている。・ 令和2年度は、協会として令和2年9月までに80%以上（高知支部のKPIは75.6%以上）を目標としており、医療機関や調剤薬局へ訪問して切り替え促進を図るほか、メディアミックスによる大々的な広報を展開する等、目標達成に向け積極的な施策をおこなう。		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

インセンティブ制度の周知広報／令和元年度評価結果

KPI目標	—	KPI結果	—
取組内容	<p>【支部広報媒体での広報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入告知書同封チラシ（R1.7、R1.11） ・メールマガジン（R1.9、R1.12、R2.3） ・健康保険委員向け広報誌「Kochi Time vol.10」（R1.4） <p>【事務説明会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会保険委員研修会（R1.5）※2会場 ・算定基礎説明会（R1.6）※8会場 ・職場の健康づくり応援研修会（R1.7）※6会場 <p>【新聞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知新聞（R1.9.12、R2.1.5、R2.3.23） 		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・インセンティブ制度に係る平成30年度の実績において、高知支部は全国最下位と低迷している。また、令和元年度に本部が実施した加入者の理解度調査において、「インセンティブ制度に関心がある」と回答された方の割合は僅かに15.7%（全国18.9%）であった。 ・引き続き、丁寧な広報を実施することにより、加入者や事業主の行動変更を促していく必要がある。 		

1 (2). 戦略的保険者機能関係

地域の医療提供体制への働きかけや医療保険制度改正等に向けた意見発信／令和元年度評価結果

KPI目標	①他の被用者保険者との連携を含めた地域医療構想調整会議への被用者保険者の参加率を100%とする ②経済・財政と暮らしの指標「見える化」データベースなどを活用した効果的な意見発信を実施する	KPI結果	①100% ②実施なし
取組内容	<p>・高知県においては、4つの構想区域（安芸、中央、高幡、幡多）に地域医療構想調整会議が設置されており、さらに中央区域には4つの部会（高知市、物部川、嶺北、仁淀川）がある。このうち、中央区域地域医療構想調整会議の物部川部会へ、被用者保険代表として公立学校共済組合高知支部が出席し、それ以外の6つの会議へ協会けんぽが出席した。</p>		
評価結果	<p>・加入者や事業主を代表する立場からの意見を発信したが、データベースをもとに活用したものではなかった。</p> <p>・令和2年度においては、意見発信をしている他支部の事例を参考にしながらデータを活用した意見発信をおこなう。</p>		

1 (3). 組織・運営体制関係

OJTを中心とした人材育成／令和元年度評価結果

KPI目標	—	KPI結果	—
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・効果的なOJTをおこなうとともに、採用3年目までの職員に対しては定期的なジョブローテーションを実施中。・必須研修（ハラスメント研修、情報セキュリティ研修、個人情報保護研修、コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修、ビジネススキル研修）を計画的に実施した。・自己啓発に取り組むための支援として本部が実施する通信教育講座の斡旋について、積極的な受講を勧奨した。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・「人づくり」は組織運営の大きな柱であるため、本部が示している職員像（創造とチャレンジ、協働、専門性、加入者本位、安心と信頼）を意識しながら、より一層、職場におけるOJTを中心とした人材育成に力を入れていく。		

1 (3). 組織・運営体制関係

費用対効果を踏まえたコスト削減等／令和元年度評価結果

KPI目標	一般競争入札に占める一者応札案件の割合について、対前年度（100％）以下とする	KPI結果	0％ (0件/2件)
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・一般競争入札において、より競争性を高めるため、十分な公告期間・履行期間を設けるとともに、複数の事業者へ呼び掛けをおこなった。・消耗品について、web一括購入や適切な在庫管理により、コスト削減を図る。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・2件の入札案件（生活習慣病予防健診及び特定健康診査の受診勧奨に係る封入封緘等発送準備業務、電話交換機及び電話機の購入・設置等に係る業務委託）にて、それぞれ2社より応札がありKPIを達成した。・引き続き、広告後の積極的な周知や、十分な公告期間・履行期間の確保により、少しでも多くの事業者に参加していただけるよう努める。		

1 (3). 組織・運営体制関係

コンプライアンスの徹底及びリスク管理／令和元年度評価結果

KPI目標	—	KPI結果	—
取組内容	<ul style="list-style-type: none">・支部内研修を通じ、ハラスメントや情報セキュリティ、個人情報保護をはじめとしたコンプライアンスの徹底を図った。また、情報セキュリティにおいては「情報セキュリティ月次確認表」による自己点検、及び端末の相互チェックを毎月、実施した。・コンプライアンス委員会、及び個人情報保護管理委員会を、それぞれ2回開催した。・本部のハラスメント相談員研修に参加し、ハラスメント相談員に対して伝達研修をおこなった。		
評価結果	<ul style="list-style-type: none">・職員研修を通じて、コンプライアンスの重要性や協会規程等を再確認した。・コンプライアンス委員会、及び個人情報保護管理委員会にて、自主点検で指摘された事項を共有するとともに、改善策に向けたスキームを構築した。・今後においても、研修や朝礼等による啓発を通じてコンプライアンス意識の醸成、リスク管理の徹底を図っていく。		

2. 令和元年度 支部保険者機能強化予算執行状況

予算区分	分野	予算額	執行額
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	6,503千円	5,639千円
	広報・意見発信経費	1,472千円	1,333千円
支部保健事業予算	健診経費	20,782千円	11,718千円
	保健指導経費	3,514千円	1,181千円
	重症化予防事業経費	646千円	484千円
	コラボヘルス事業経費	0千円	0千円
	その他の経費	807千円	80千円

《支部保険者機能強化予算について》

協会の予算（業務経費等の事務費）は、ジェネリック医薬品の軽減額通知や健診費用の補助等の費用に充てる本部で扱う予算のほか、支部で扱う予算がある。この支部で扱う予算については、以下の3つに大別できる。

- ① 審査医師への謝金や支部事務室賃料など、支部の基本的な業務運営に必要な予算（基礎的業務関係予算）
- ② 医療費適正化対策や広報・意見発信など、地域の実情等を踏まえた取組みを推進するために必要な予算（医療費適正化等予算）
- ③ 受診勧奨対策や重症化予防対策など、保健事業における重点的な取組みを推進するために必要な予算（保健事業予算）

このうち、②及び③の予算については、「**支部保険者機能強化予算**」として、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を強化する取組みを実施する場合に予算計上する経費となる。

2 (1). 医療費適正化対策経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
ジェネリック医薬品使用状況の毎月分析と可視化ツールの活用	医療機関や調剤薬局に対し、当該機関で「処方数量の多い先発品」や「該当先発医薬品に対するジェネリック医薬品のうち流通量の多い銘柄」等を記載した「 ジェネリック医薬品処方状況のお知らせ 」を作成。医療機関や調剤薬局への訪問時等に、本部提供ツールとあわせて活用することで、ジェネリック医薬品への切り替えを働き掛ける。	令和元年11月に企画競争にて委託事業者を選定。その後、令和2年2月にデータ（医療機関1,508件、調剤薬局700件）が納品され、医療機関等への訪問準備を進めていたものの、新型コロナウイルスの影響により事業の延期を余儀なくされた。なお、令和2年度においては、本事業で作成した資料を持参し、6/5より医療機関等への訪問を開始。【参考資料P35参照】	2,649千円	2,640千円
レセプトデータを活用した医薬品の多剤・重複服薬者への案内通知	多剤併用による医療費の増加、ポリファーマシーや残薬等が社会的にも問題となっている。そこで、これらの防止を図ることを目的とし「複数の医療機関を受診し、多剤服用している加入者」に対して 服薬状況を通知 する。なお、通知文書については、成分の重複や飲み合わせによる副作用等に関して、イラストを交えて読みやすいよう内容を工夫するとともに、今後の事業展開の参考とするため、アンケートを同封し、お薬手帳やかかりつけ医に対する活用状況を確認する。	令和元年11月に企画競争にて委託事業者を選定。その後、令和2年2月にデータ（多剤・重複者データ1,548件、案内通知データ427件※）が納品され、令和2年3月に427名（うち同種同効64名、相互作用3名、副作用87名、慎重投与2名）に対して服薬情報を通知。 ※ 1医療機関で2種類以上、かつ複数機関で合計6剤以上処方されている方【参考資料P 36参照】	3,630千円	2,926千円
医師会等との連名による健康保険証適正使用推進にかかる医療機関等掲示用ポスターの作成	資格喪失後の受診等を抑制するため、関係団体との連携によるポスターを作成し医療機関へ送付する。 ○ポスター掲載内容 タイトル「 受診のときは 必ず保険証を提示しましょう 」 ・保険証を使用できるのは退職日までであること ・交通事故等で保険証を使用する際は、保険証発行元への届出が必要であること ・業務上での病気やけが、通勤災害では保険証を使用できないこと	令和2年1月、見積競争にて委託事業者を選定。令和2年3月に1,400部が納品され、同月1,295の医療機関へ送付。【参考資料P37参照】	224千円	73千円

2(2). 広報・意見発信経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
紙媒体による広報	毎月の納入告知書に「協会けんぽからのお知らせ」を同封する。	毎月、事業所（約13,000社）に対して制度改正や健康づくり等に関する情報を発信。	1,282千円	1,258千円
	退職される方がスムーズに手続きをおこなえるよう、退職後の健康保険（任意継続、国保、被扶養者）にかかる「退職後の健康保険加入案内リーフレット」を作成する。	年金事務所内協会窓口の閉鎖により必要数量が減少し、支部内印刷（約600枚）で対応。	53千円	0千円
	健康経営優良法人の認定を受けた事業所の「健康づくり取り組み事例集」を作成する。	健康保険委員経費からの支出に変更の上、健康保険委員委嘱先事業所（約1,500社）へ送付。	115千円	0千円
健康経営セミナーの開催	高知新聞社が主催する「こうち健康企業プロジェクト」へ共催し、健康経営セミナーを開催。「高知家健康経営アワード2019」の表彰式や、古井祐司氏（東京大学政策ビジョン研究センター特任教授）による基調講演等をおこなう。また、第78回日本公衆衛生学会にて、協会けんぽより健康経営をテーマに講演をおこない、宣言事業所には取り組み事例の発表をしていただく。	○高知新聞へ半5段モノクロ広告掲載（令和元年9月12日） ○健康経営セミナー（令和元年10月9日）参加人数：80名程度 ○第78回日本公衆衛生学会（令和元年10月23日）参加人数：120名程度 ・シンポジウム3-3 「協会けんぽ高知支部における健康経営の普及策（「高知家」健康企業宣言事業）」 ・シンポジウム3-4 「健康経営へのチャレンジと課題への対応」	490千円	497千円 ※予算超過分は医療機関配布用各種申請書経費を流用
新聞等を利用したインセンティブの周知広報	インセンティブ制度に係る平成30年度の実績において、高知支部は全国最下位と低迷しており、大きく巻き返しを図る必要がある。そこで、地元紙である高知新聞にインセンティブ制度の広告を掲載することにより、健診や特定保健指導のほか、要治療者の医療機関受診、ジェネリック医薬品使用促進等の意識付けをおこなう。	○高知新聞へ半5段モノクロ広告掲載（令和2年1月5日） 加入者や事業主の取り組みが保険料率に反映されること、及びインセンティブ制度の各項目にかかる協会けんぽからのお願い事項を掲載。	481千円	480千円

2(2). 広報・意見発信経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
医療機関配布用各種申請書セット	限度額適用認定、出産育児一時金、治療用装具の各種制度にかかるリーフレットと、申請書をセットにして医療機関や市町村等へ備え付け、申請される加入者へ配付してもらう。	各医療機関等からの要望（配付実績）に応じて、次のとおり送付。 ○限度額適用認定申請書セット：6,312セット ○出産育児一時金申請書セット：415セット※支部内印刷 ○療養費（治療用装具）申請書セット：2,320セット	333千円	235千円
メルマガ・ホームページ掲載記事原稿料	医師に専門的見地による医療・健康に関するコラムを執筆してもらい、メルマガを通じて加入者へ情報を提供する。また、支部ホームページにも、メルマガのバックナンバーとして掲載する。	メールマガジンの奇数月に「知って得するDr.川崎の気になる病気」としてコラムを掲載し、ホームページにはバックナンバーとして掲載。なお、メールマガジンについては新規に164件の登録があり、令和2年3月の配信件数は675件。	60千円	60千円
職場の健康づくり応援研修会を通じての意見発信	協会けんぽ高知支部と高知県、高知市が連携し、事業所の健診等の担当者に対して、健康づくりや健康保険制度等に関する研修会を開催する。	○安芸市「ご存じですか？職場のたばこ対策が変わります！」（令和元年7月24日、32名） ○香美市「職場のたばこ対策について」「健康経営について」（令和元年7月26日、29名） ○高知市「知らなかったではすまされない！！タバコと脳の関係？」（令和元年7月17日、49名） ○吾川郡「2020年4月から職場のたばこ対策が変わります」（令和元年7月18日、36名） ○須崎市「完全禁煙で脳を守って健康寿命を伸ばそう」（令和元年7月24日、46名） ○四万十市「快眠セミナー～睡眠が仕事の質を変える～」（令和元年7月17日、41名）	109千円	62千円

2(3). 健診経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
特定健診集団健診の実施（10月～3月開催）	<ul style="list-style-type: none"> ・高知市近郊に居住する未受診者を対象とし、特定健診とがん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施。 ・高知市を除く県内在住の未受診者を対象として、特定健診とがん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール高知で10月に2日間実施し523名受診。 ・四万十市武道館で1月に1日間実施し65名受診。 ・高知市を除く県内29市町村を対象に、2月～3月に6会場で実施し233名受診（コロナの影響で、2会場の健診が中止）。 	4,224千円	2,087千円
高知市等自治体と連携した特定健診とがん検診の同時実施	高知市在住の未受診者を対象として、特定健診とがん検診を同時に実施できる健診実施機関に委託して実施。	高知市保健福祉センターで、1月に5日間実施し566名受診。	1,861千円	1,133千円
健診機関による委任状取得の委託	健診機関が事業主から委任（同意）状を取得し、事業者健診データを健診機関が直接、協会けんぽへ提出する。	委託健診機関4機関：委任状取得件数1件。	676千円	3千円
事業者健診データ同意書及びデータ取得の外注	業者に勧奨を委託し、健診データの提供にかかる同意書の取得又は健診データの取得を行う。	551社（12,039名）を対象にデータ取得勧奨を実施。うち421社は同意書の取得を含む。 同意書取得： 119件（28.3%） データ取得：2,789件（23.2%）	4,510千円	4,178千円

2(3). 健診経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
健診推進経費	生活習慣病予防健診受診者数・事業者健診データ取得件数・特定健診受診者数の目標値を設定の上、健診機関等がその目標値を達成した場合に、報奨金を支払う。	生活習慣病予防健診推進委託機関15機関：当該取組での健診受診者増加件数1,671件。 事業者健診データ取得推進委託機関3機関：当該取組での健診データ取得増加件数587件。 特定健診推進委託機関0機関。	4,144千円	1,719千円
郵送式血液検査サービス	健診無関心層（3年以上連続未受診者）を対象に、健診会場に行く手間と時間を省いて自宅で行える「郵送式の血液検査サービス」を実施し、定期的な健診受診の必要性を体感させ、次年度以降の受診に結び付ける。事業実施は専門業者に委託して行う。	来年度40歳に到達する39歳の被扶養者542名に案内送付、163名が検査実施（令和2年度に、同対象者に圧着はがき等で受診勧奨を行う予定）。	3,612千円	1,019千円
健診年次案内用受診勧奨チラシ作成	健診受診に係る案内の内容を補足するリーフレットを年次案内に同封し受診勧奨を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防健診関係リーフレット16,000部 特定健診関係リーフレット28,000部 任継加入者用リーフレット2,500部 	1,000千円	681千円
事業者健診HbA1c追加検査	事業者健診実施前に食事を摂取し、やむなく随時血糖検査（3.5時間未満）を実施する者へ、同一検体を使用してHbA1c検査を実施し、その費用を協会けんぽが健診機関に支払い、血糖データの提供を受ける。	委託健診機関3機関：HbA1c検査実施者1,803名	756千円	903千円 ※予算超過分は事業者健診委託費を流用

2(4). 保健指導経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
保健指導推進経費	前年度の保健指導実績等を上回った場合、その超過分を報奨金として、保健指導実施機関に支払う。	契約保健指導実施機関7機関。うち2機関が要件到達。報奨金算定対象保健指導件数266件。	1,000千円	136千円
共同利用文書印刷	健診結果に健診結果データの共同利用に係る文書を同封し、被保険者の保健指導を円滑に実施する。	共同利用文書印刷は、生活習慣病予防健診の年次案内用支部独自様式の印刷に入れ込んで調達するほうがケースメリットがあり、安価に調達できるとの判断で、健診経費で作成。当科目は、保健指導利用勧奨に使用するパンフ等の購入・作成に使用。	462千円	298千円
中間評価時の血液検査費	特定保健指導利用者の生活習慣改善意識の維持向上を図るとともに、特定保健指導における検査結果の活用を目的として、血液検査等検査を希望する特定保健指導利用者対して実施する。	委託検査機関8機関：血液検査実施者186名	1,620千円	608千円
医師謝金	保健指導に対して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う。	11月に実施（1回／年）	154千円	4千円

2(4). 保健指導経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
保健指導用パンフレット作成等経費	特定保健指導対象者等へ生活習慣改善の啓発を行う。	特定保健指導対象者の行動変容を促すツールの冊子（100kcalポケットブック）を購入	50千円	39千円
保健指導用事務用品費（測定機器類等）	保健指導の円滑な実施のための備品を購入する。	保健指導用P Cバックを購入	100千円	20千円
保健指導用図書購入費	保健指導の効果的な実施方法等知識の習得を行う。	特定保健指導に関する図書を購入	50千円	76千円 ※予算超過分は事務用品費を流用
公民館等における特定保健指導	土曜日・日曜日等に特定保健指導を実施し、特定保健指導の利用勧奨を促進する。	9月、1月にお料理教室を組み入れた集団特定保健指導を開催	78千円	3千円

2 (5). 重症化予防事業経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
未治療者受診勧奨	健診結果（血圧値または血糖値）で要治療と判断されながら医療機関を受診していない治療放置者に対して受診勧奨を行う。	受診勧奨件数 電話：15件、文書：376件、訪問：62件	156千円	0千円
重症化予防対策	高知県糖尿病重症腎症重症化予防プログラムに則って実施。委託業者に作成を依頼するデータで対象者を選定し、医療機関未受診者及び治療中断者に対して受診勧奨等を行う。	糖尿病重症化予防事業、多剤・重複服薬情報通知事業、GE医薬品使用割合データ分析事業の3事業に活用するデータベースを作成。未受診者及び治療中断者への受診勧奨を中心に通院中のコントロール不良者への保健指導を実施するように計画。R2.2にデータの納品があり、対象者を抽出。（未受診者93名、中断者25名） R2.3に、県内のコロナ感染者が拡大する状況を受けて「今は受診勧奨を行う時期ではない。」との判断で令和元年度中は事業実施できなかった。（多剤・重複服薬者への通知は427名に対して実施済み） R2年6月から受診勧奨事業を再開。	490千円	484千円

2(6). その他の経費関係

事業名	概要	実施結果	予算額	執行額
Let's start! オフィスdeエクササイズ	受講者5名以上の事業所に健康運動指導士を派遣し、職場内で行える健康体操の指導を行い、事業所内での運動習慣を定着させることが目的。参加事業所には、健康運動指導士が考案した支部オリジナル健康体操DVDを進呈。指導当日と3ヶ月後にアンケートを行い、継続状況を把握。	受講希望者5名以上の6事業所293名を対象に実施（年度末に実施を予定していた事業所が何社かあったが、コロナ感染拡大防止のため中止）。	684千円	75千円
保健事業計画アドバイザー経費	保健事業計画（データヘルス計画）の効果的な実施方法を検討・実行する上で、有識者のアドバイスをいただく。	11月に実施（1回／年）	123千円	6千円

2(7). 参考資料 『ジェネリック医薬品処方状況のお知らせ』

【病院向け】

4. オープンライズジェネリック情報を提供します

高知支店において使用率の高い先発品に対するオープンライズジェネリックは以下のとおりです。

品名	後発品	後発品	後発品	
1. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
2. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
3. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
4. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
5. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
6. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
7. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
8. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
9. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
10. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
11. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
12. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
13. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
14. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
15. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
16. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
17. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
18. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
19. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
20. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
21. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
22. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
23. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
24. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
25. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
26. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
27. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
28. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
29. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
30. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04

〒780-0804 高知市東山町4丁目2-40 ニビル 高知ビル4階
高知支店 薬剤部
TEL: 099-820-6012 FAX: 099-820-6013

ジェネリック医薬品処方のお知らせ (このお知らせは貴医療機関の情報が含まれています)

平賀より全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営に協力頂き、厚いお礼申し上げます。
さて、平成29年6月の閣議決定において2020年9月までにジェネリック医薬品の使用割合を80%以上とし、できる限り削減し達成できずとも、さらなる使用促進を検討する、と定められました。
協会けんぽとしても、加入者の薬費や保険料の負担軽減に繋がりますことから、ジェネリック医薬品の普及促進の取組に積極的に対応しています。また、ジェネリック医薬品使用割合の向上には、各医療機関様の連携や情報共有が不可欠と考えられます。
以上のことから、協会けんぽ高知支部は、各医療機関様に対するジェネリック医薬品の処方動向や医薬品在庫状況等、在庫管理等に有益な情報を通知する事業を行っています。
ジェネリック医薬品の普及促進の一助としてご利用いただけます。
協会けんぽ 高知支部
支所長 小松 誠昭

ジェネリック医薬品関連指標の比較

平賀より全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営に協力頂き、厚いお礼申し上げます。
高知は全国平均と比較して、ジェネリック医薬品に関する指標が低い傾向にあります。

1. 貴医療機関の現状は？

先発品使用率 5.37% 後発品使用割合 94.63% 総処方数

- G E 医薬品使用割合（収量ベース） 13
- 一般名処方計算建シレバ割合 14

貴医療機関は平均と比較して、どのくらいですか？
この結果、貴医療機関で処方数が多い処方薬品について、処方数が多い処方薬品を優先してご提案いたします。

3. 該当先発医薬品に対する流通量の多いG E 医薬品

- 処方数1位の先発品「ロコリン錠60mg」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数2位の先発品「コロア錠600mg」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数3位の先発品「ロコリン錠」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数4位の先発品「E-5ステップ20mg 7cmx10cm」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数5位の先発品「コカス錠100mg」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数6位の先発品「アルファシロリン酸塩25mg 1%2.5mL」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数7位の先発品「セフトロ錠50mg」に対するG E 医薬品候補 ※

2. 貴医療機関で処方数が多い先発品は？

品名	先発品	後発品	後発品	後発品
1. ロコリン錠60mg	14,500	133,000	錠	147,500
2. コロア錠600mg	6,000	111,000	錠	117,000
3. ロコリン錠	9,400	120,000	錠	129,400
4. E-5ステップ20mg 7cmx10cm	24,300	170,000	錠	194,300
5. コカス錠100mg	48,300	717,000	錠	765,300
6. アルファシロリン酸塩25mg 1%2.5mL	11,100	344,000	錠	355,100
7. セフトロ錠50mg	37,700	316,000	錠	353,700

※ 2019年4月～2019年9月30日までの処方数です。処方数が多い処方薬品は、後発品が処方されている処方箋が多いです。

【薬局向け】

4. オープンライズジェネリック情報を提供します

高知支店において使用率の高い先発品に対するオープンライズジェネリックは以下のとおりです。

品名	後発品	後発品	後発品	
1. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
2. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
3. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
4. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
5. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
6. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
7. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
8. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
9. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
10. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
11. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
12. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
13. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
14. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
15. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
16. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
17. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
18. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
19. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
20. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
21. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
22. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
23. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
24. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
25. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
26. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
27. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
28. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
29. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04
30. 経口血糖薬	ニトラス 3.0mg	0.04	ニトラス 3.0mg (ニトラス)	0.04

〒780-0804 高知市東山町4丁目2-40 ニビル 高知ビル4階
高知支店 薬剤部
TEL: 099-820-6012 FAX: 099-820-6013

ジェネリック医薬品処方のお知らせ (このお知らせは貴薬局の情報が含まれています)

平賀より全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営に協力頂き、厚いお礼申し上げます。
さて、平成29年6月の閣議決定において2020年9月までにジェネリック医薬品の使用割合を80%以上とし、できる限り削減し達成できずとも、さらなる使用促進を検討する、と定められました。
協会けんぽとしても、加入者の薬費や保険料の負担軽減に繋がりますことから、ジェネリック医薬品の普及促進の取組に積極的に対応しています。また、ジェネリック医薬品使用割合の向上には、各医療機関様の連携や情報共有が不可欠と考えられます。
以上のことから、協会けんぽ高知支部は、各医療機関様に対するジェネリック医薬品の処方動向や医薬品在庫状況等、在庫管理等に有益な情報を通知する事業を行っています。
ジェネリック医薬品の普及促進の一助としてご利用いただけます。
協会けんぽ 高知支部
支所長 小松 誠昭

ジェネリック医薬品関連指標の比較

平賀より全国健康保険協会（協会けんぽ）の事業運営に協力頂き、厚いお礼申し上げます。
高知は全国平均と比較して、ジェネリック医薬品に関する指標が低い傾向にあります。

1. 貴薬局の現状は？

先発品使用率 2.91% 後発品使用割合 97.09% 総処方数

- G E 医薬品使用割合（収量ベース） 13
- 一般名処方計算建シレバ割合 14

貴薬局は平均と比較して、どのくらいですか？
この結果、貴薬局で処方数が多い処方薬品について、処方数が多い処方薬品を優先してご提案いたします。

3. 該当先発医薬品に対する流通量の多いG E 医薬品

- 処方数1位の先発品「ロコリン錠200mg」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数2位の先発品「コロア錠600mg」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数3位の先発品「ロコリン錠」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数4位の先発品「E-5ステップ20mg 7cmx10cm」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数5位の先発品「コカス錠100mg」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数6位の先発品「アルファシロリン酸塩25mg 1%2.5mL」に対するG E 医薬品候補 ※
- 処方数7位の先発品「セフトロ錠50mg」に対するG E 医薬品候補 ※

2. 貴薬局で処方数が多い先発品は？

品名	先発品	後発品	後発品	後発品
1. ロコリン錠200mg	18,500	133,000	錠	151,500
2. コロア錠600mg	6,000	111,000	錠	117,000
3. ロコリン錠	9,400	120,000	錠	129,400
4. E-5ステップ20mg 7cmx10cm	24,300	170,000	錠	194,300
5. コカス錠100mg	48,300	717,000	錠	765,300
6. アルファシロリン酸塩25mg 1%2.5mL	11,100	344,000	錠	355,100
7. セフトロ錠50mg	37,700	316,000	錠	353,700

※ 2019年4月～2019年9月30日までの処方数です。処方数が多い処方薬品は、後発品が処方されている処方箋が多いです。

2(7). 参考資料 『服薬状況通知』

令和2年3月

様

この『お知らせ』の送付を希望しない方は、
協会けんぽ高知支部 企画総務グループまで
ご連絡ください。
(電話 088-820-6010) (代表)

協会けんぽ高知支部 企画総務グループ
〒780-8501 高知市本町 4-2-40
ニッセイ高知ビル

この『お知らせ』に関して、協会けんぽ高知支部からお電話することがあります。

大切な「お薬情報のお知らせ」

この『お知らせ』は、あなたが処方されたお薬について記載しています。2つ以上の病院から、それぞれお薬が出ていると、同じ成分のお薬があったり、お薬の飲み合わせが悪いなどの問題が起こることがあります。
お薬手帳をお持ちでない方、もしくは、複数のお薬手帳をお持ちの方は、この『お知らせ』をご活用いただき、病院や薬局へご相談ください。

この「お知らせ」の活用事例



日頃から『かかりつけ薬局（薬剤師）』や『かかりつけ医』を持つようにして、
『お薬手帳』や『かかりつけ連携手帳』で適切な服薬をこころがけましょう。

【お問い合わせ先】
協会けんぽ高知支部 企画総務グループ
電話 088-820-6010 (代表)
時間 9:30～17:15 (土・日・祝日・年末年始除く)

記号・番号
種別

お薬情報のお知らせ

NO	医療機関名	★かかりつけ薬剤師	薬局名	薬剤種類	薬剤数量
1					4 3
2					3 3
3					1 0
合 計					8 6

この明細について/使い方 平成31年3月 時点の情報で通知書を作成しています。
この明細は、2つ以上の医療機関から処方されたお薬について記載しています。(入院中のお薬などは記載されないことがあります。)
薬局や病院へ持って行き、お薬の重複や飲み合わせなど確認してもらいましょう。

NO	薬名	数量	日数	発給日	剤形
1	バタノール点眼液0.1%	5 mL	1	3月14日	外用
	カルボシステイン錠500mg「トーフ」	3 錠	30	3月14日	内服
	モンテルカスト錠10mg「ファイザー」	1 錠	30	3月14日	内服
	ザイザル錠5mg	1 錠	30	3月14日	内服
2	ゾレドナール錠80 80mg	3 錠	90	12月4日	内服
	ミオナール錠50mg	3 錠	90	12月4日	内服
	ムコスタ錠100mg	3 錠	90	12月4日	内服
3	レルペア100エリプタ30錠入用	1 キット	1	3月26日	外用

※1 この明細は、あなたに処方された過去4ヶ月の医薬品について掲載していますが、医療機関・薬局の過去の請求データから集計しているため、現在、服用している薬剤と異なっている場合があります。
※2 薬剤数が多い場合には、本明細にすべての病院、薬局、薬剤が記載されていない場合があります。
※3 発給情報の「○」記載は同一成分または類似薬であることを示しています。

094020110

2(7). 参考資料 『受診のときは必ず保険証を提示しましょう』



協会けんぽの健康保険証(見本)

健康保険被保険者証	本人(被保険者)	平成26年6月25日交付	00111
記号	21700023	番号	21
氏名	加藤 太郎		
生年月日	平成 元年 5月 10日		
性別	男		
資格取得年月日	平成 26年 6月 1日		
事業所名称	〇〇株式会社		
保険者番号	01390012		
保険者名称	全国健康保険協会 高知支部		
保険者所在地	高知市本町4-2-40		

しまししょう!!

保険証を提示

受診のときは必ず

保険証の提示にご協力ください!!

- 退職や転職などで保険証が切り替わったときは、すぐに医療機関窓口へ申し出てください。
保険証を使用できるのは**退職日まで**です。
被扶養者(家族)の方は、扶養認定の解除日以降は使用できません。
- 交通事故等で保険証を使用するときは、「保険証の発行元」に届け出が必要です。
- 業務上での病気・けがや通勤災害にあったときは、保険証を使用できません。

全国健康保険協会高知支部 社会保険診療報酬支払基金高知支部
高知県医師会 高知県歯科医師会 高知県薬剤師会